

シルク博物館平成28年度年報

シルク博物館

平成30年2月

シルク博物館平成 28 年度年報

目次

1 ごあいさつ	1
2 建物の概要	2
3 平成 28 年度のおもな出来事	2
4 事業	3
(1) 展示事業	3
ア 常設展示	
イ 春の特別展「キモノの美—人間国宝田島比呂子の友禅—」	
ウ 秋の特別展「第 24 回 全国染織作品展」	
エ 館外展示「絹の街、横浜～写真と絵で探る歴史と魅力～」	
(2) 教育普及事業	7
ア かいこ博士プロジェクト	
(3) 実演・講習会	10
ア くみひも作り体験	
イ 手作り真綿の実演と講習会	
ウ スカーフ染め体験	
エ 手描友禅色挿し体験	
オ ワクワク！シルククイズ	
(4) 博物館実習の受入れ	11
(5) 連携事業	11
ア シルキーウィンターフェスティバル	
イ 横浜絹フェスティバル	
(6) 資料活用事業	14
ア 購 入	
イ 寄 贈	
ウ 資料の貸出	
エ 資料の特別（写真）利用	
(7) 刊行物	15
(8) 執筆・講演	15
ア 執 筆	
イ 講 演	
(9) レファレンス	16
(10) 後援・協力	16
ア 後援等	
イ 他機関への協力	

(11) 視察等.....	18
(12) 広 報.....	18
ア テレビ・ラジオ	
イ 新聞・業界紙	
ウ WE	
エ 書 籍	
オ ミニコミ・研究誌等	
カ その他	
5 資料	21
(1) 組織と職員.....	21
(2) 事業費.....	22
(3) 所蔵資料.....	22
(4) 入館者状況.....	22
(5) 過去の特別展・企画展一覧.....	23

1 ごあいさつ

シルク博物館は、1959（昭和 34）年 3 月に、横浜開港 100 年記念事業の一環として建設されたシルクセンターの中に開設され、2019 年には開館 60 周年を迎える歴史ある博物館です。開館以来、さまざまな事業を展開してきましたが、2016 年度も春の企画展、秋の特別展のほか、高島屋での館外展示や、これまでの蚕種配布等の普及事業を一つにまとめ「かいこ博士プロジェクト」として展開するなど、新しい試みにも取り組みました。

一方で、開館 60 周年を迎えるにあたり、館内の施設等の再整備を周年事業の一つとして考え、その計画にも取り組み始めました。2017・18 年度と準備を進め、より親しまれる博物館を目指したいと思います。

当館は、大さん橋の入口にあることから、大型客船が寄港すると多くの外国の方が来館されています。2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催で、いままで以上の外国の方々を迎えるものと思います。シルク博物館としても、「おもてなし」の心でお迎えし、日本の絹のすばらしさを世界に伝えていきたいと考えています。

今後とも、シルク博物館の活動にご理解とご協力をいただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

2018（平成 30）年 2 月

シルク博物館

2 建物の概要

【博物館】

展示面積 (2階)	798.00 m ² (241.39 坪)	※受付前、ミュージアムショップを含む
(3階)	558.03 m ² (168.80 坪)	
イベントホール	212.72 m ² (64.35 坪)	
第一収蔵庫	21.76 m ² (6.58 坪)	
第二収蔵庫	46.24 m ² (13.99 坪)	
映写室	24.48 m ² (7.41 坪)	
準備室	62.62 m ² (18.94 坪)	
図書室	67.80 m ² (20.51 坪)	

改装 昭和 44 年 (開館 10 周年記念)
平成 11 年 (開館 40 周年記念)
平成 24 年 (開館 53 周年記念)

【シルクセンター】

所在地 神奈川県横浜市中区山下町 1 番地
構造 地下 2 階、地上 9 階、塔屋 2 階
建築面積 2,970 m²(900 坪)
延床面積 24,983 m²(7,570.85 坪)
設計監理 坂倉準三建築研究所
施工 鹿島建設株式会社
経過 起工 昭和 32 年 11 月
竣工 昭和 33 年 11 月 (一部)、昭和 34 年 3 月 12 日 (全館竣工)
開館 昭和 34 年 3 月 12 日

3 平成 28 年度のおもな出来事

- ・特別展と企画展を各 1 回開催し、また横浜開港資料館と共催で高島屋にて館外展示を行った。
- ・蚕種配布、かいこ教室、たのしいかいこの発表会等の普及事業を、「かいこ博士プロジェクト」の一連事業としてまとめ、子ども向け事業を展開した。
- ・大韓民国 D T C 繊維博物館の職員が視察のため来館

4 事業

(1) 展示事業

ア 常設展示

年間を通して蚕の飼育展示、繭やシルクの科学、絹製品などができる過程、衣食住にかかわる絹製品、蚕糸業の歴史、日本の復元時代風俗衣装人形、江戸時代の小袖、重要無形文化財保持者をはじめとした現代作家の着物、掛袷紗、アジアを中心とした民族衣装、蚕織錦絵など、シルクに関するさまざまな展示を行なった。

イ 春の企画展「キモノの美—人間国宝田島比呂子の友禅—」

当館では友禅の重要無形文化財保持者で平成 26 年に亡くなられた田島比呂子先生から多くの作品や仕事に関する資料の寄贈を受けた。これら資料の調査のなかから、友禅作品の制作過程のスケッチ、取材写真、下図、彩色大下図、試し染めなどを交えて展示し、日本の伝統あるキモノの美を紹介した。

【会期】平成 28 年 4 月 23 日(土)～6 月 12 日(日) (開催期間 44 日間)

【主催】シルク博物館

【後援】神奈川県／横浜市文化観光局／神奈川新聞社／tvk／NHK 横浜放送局／
東京織物卸商業組合／横浜繊維振興会

【展示】友禅着物・帯 19 点、試し染め 69 点、下図類 29 点、スケッチ類 22 点、
写真 41 点、道具類 6 点、制作工程紹介等写真一式

【関連企画】

企画名	実施日	回数	講師	参加者
試着体験 「シルクのキモノを着てみよう」	会期中毎週土曜日 4/23、30、5/7、14、 21、28、6/4、11	8 回	当館職員	6 人
シルクについてのワークショップ	5/31(火)	1 回	下村輝 (下村ねん糸)	19 人

【入館者数】

(人)

	個人				団体				無料 ※	入場者計
	一般	シニア	高・大	小・中	一般	シニア	高・大	小・中		
日本人	761	554	218	424	284	255	317	613	1,911	5,337
外国人	101	21	12	5	1	1	0	0	—	141
計	862	575	230	429	285	256	317	613	1,911	5,478

※無料その他：招待券、優待券など無料入館者

【写真】



ウ 秋の特別展「第24回 全国染織作品展」

絹を用いた染織作品を広く全国から募集し、厳正な審査のうえ、入選作品を展示した。本展を通じて、次代をにやう新進作家の育成および染織技術の向上と服飾文化の発展を図るとともに、絹の需要促進の寄与に努めた。公募作品数は147点であり、前回(186点)を下回ったが優れた作品が多く、70点が入選となった。

【会期】平成28年10月8日(土)～11月13日(日) (開催期間32日間)

【主催】シルク博物館

【後援】神奈川県／横浜市文化観光局／神奈川新聞社／tvk／NHK横浜放送局／
一般財団法人織賃会館／一般財団法人大日本蚕糸会／一般財団法人日本真綿協会／
東京織物卸商業組合／横浜繊維振興会

【展示】入選作品70点

このうち入賞作品12点(※印は買上げ賞)

※シルク博物館大賞	織着物「11月の街道」	村田晴子 (東京都)
※シルク博物館賞	染着物「雁堤の秋」	田中さと子 (静岡県)
佳賞	織着尺「風華」	段上育子 (沖縄県)
奨励賞	染訪問着「讚美花」	石原清紫 (群馬県)
	染着物「春うらら」	中野とも子 (静岡県)
	織着尺「夏の潮」	渡辺由美子 (東京都)

染帯「積ん読」 森川明洋（東京都）
 ドロンワーク壁かけ「春の雨」 佐藤静子（千葉県）
 技術賞 織着物「銀河」 大野邦子（愛知県）
 意匠賞 織壁かけ「韻鏡」 たなか牧子（神奈川県）
 特別賞
 大日本蚕糸会会頭賞 織着物「木洩れ日」 村井裕子（京都府）
 日本真綿協会賞 織訪問着「かぎろひ」 神谷雅子（埼玉県）

【関連企画】

企画名	実施日	回数	講師	参加者
試着体験 「シルクのキモノを着てみよう」	会期中毎週土曜日 10/8、15、22、29、 11/5、12	6回	当館職員	4人
シルクについてのワークショップ	11/13(日)	1回	下村輝(下村ねん糸)	26人

【入館者数】

(人)

	個人				団体				無料 ※	入場者計
	一般	シニア	高・大	小・中	一般	シニア	高・大	小・中		
日本人	414	636	82	156	188	167	3	699	1,370	3,715
外国人	75	25	6	6	0	0	0	0	—	112
計	489	661	88	162	188	167	3	699	1,370	3,827

※招待券、優待券など無料入館者

【写真】



エ 館外展示「絹の街、横浜～写真と絵で探る歴史と魅力～」

横浜と絹のかかわりは、開港から始まり、横浜の発展に大きく貢献してきた。シルク博物館では、横浜高島屋を会場に、広く市民の皆様にご覧いただき、当館や横浜開港資料館の資料を中心に横浜の絹の歴史や魅力を改めてPRするためパネル展示を行なった。

【会期】平成28年5月25日(水)～5月30日(月) (開催期間6日間)

【主催】シルク博物館

【共催】横浜開港資料館

【協力】横浜繊維振興会

【会場】横浜高島屋8階催会場「ヨコハマ絹の大祭典」会場内

【展示】1.シルク博物館—蚕から絹染織工芸品まで—

2.横浜と絹の歴史

3.原三溪と富岡製糸場

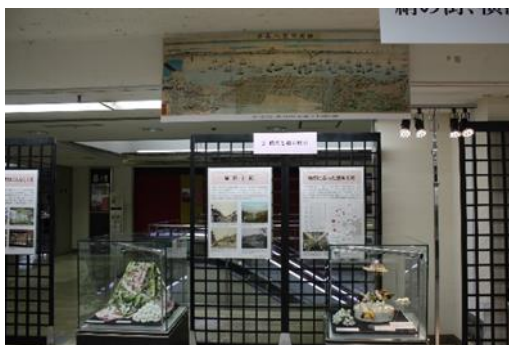
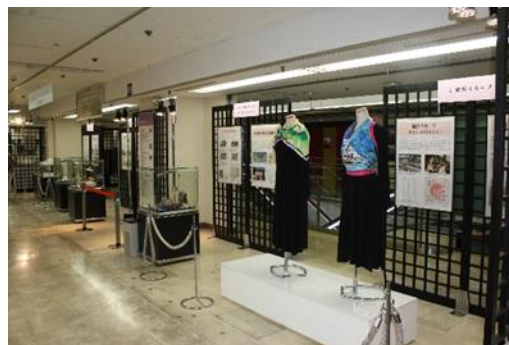
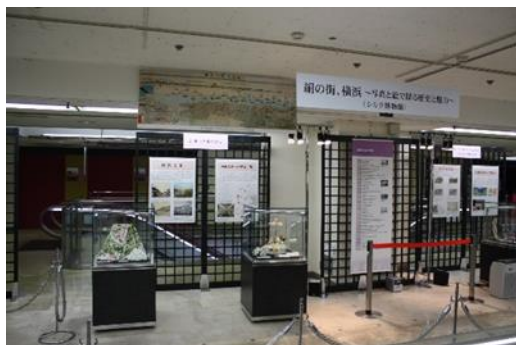
4.横浜スカーフ

5.繭から絹織物へ

パネル、額入りスカーフ、スカーフディスプレイ、蚕の飼育、繭と生糸、繭クラフト等31点

【総入場者】約3万人

【写真】



(2) 教育普及事業

ア かいこ博士プロジェクト

当館が実施してきた春の蚕種配布、夏のかいこ教室、冬のたのしいかいこの発表会等の企画や、通年開催のワークショップ、学校利用等、蚕にかかわる教育普及活動を「かいこ博士プロジェクト」として一括し、今年度は特に横浜市内の小学校3年生（担当教員）を中心に広報活動を行い、当プロジェクトの周知をはかった。

第1弾 蚕種配布

蚕の飼育を通してシルクに興味を持っていただくことを目的とし、横浜市内を中心とした小学校等に蚕種の有償配布を実施した。なお、指導者用資料として蚕種配布者全員に「蚕の飼育マニュアル」を配布するとともに、教員を対象とした蚕についての講座も開講した。

【配布日】平成28年5月19日(木)～5月21日(土) (3日間)

【配布件数】276件（うち横浜市立小学校134件、県内公立小学校11件、その他131件）

【配布数】蚕種：543袋（1袋約450粒入）、人工飼料：272本

【関連企画】

企画名	実施日	回数	講師	参加者
かいこについての講座	5/19(木)、20(金)、21(土)	5回	当館職員	175人

第2弾 かいこ教室

当館の展示や当館で実施する体験を通して、かいこの成長過程・種類、繭や生糸の特徴等について楽しく学び、シルクを生み出す「かいこ」について、子どもたちにより一層興味・関心を持たせるため、夏休み期間を利用して開催した。

【会期】平成28年7月30日(土)～8月14日(日) (開催期間14日間)

【主催】シルク博物館

【後援】神奈川県教育委員会／横浜市教育委員会／神奈川新聞社／tvk／NHK横浜放送局

【展示】めずらしいかいこの展示、かいこ博士プロジェクトについて、かいこの飼育についてQ&A展示

【体験】かいこの観察会、まゆ人形作り、生糸のランプシェード作り、みんなで作ろう！桑の木パネル

体験	参加者
かいこの観察会	243人
まゆ人形作り	323人
生糸のランプシェード作り	289人

※各体験は1日6回開講準備し、1日で全ての体験に参加できるプログラムとした。

【入館者数】

(人)

	個人				団体				無料 ※	入場者計
	一般	シニア	高・大	小・中	一般	シニア	高・大	小・中		
日本人	464	63	19	369	180	75	6	287	328	1,791
外国人	20	2	5	3	0	0	0	0	—	30
計	484	65	24	372	180	75	6	287	328	1,821

※招待券、優待券など無料入館者

【写真】



第3弾 団体利用・ワークショップ

(a) 団体利用

団体見学のなかでも学校利用が大きな割合を占める当館では、説明や映写、ワークシートの利用を含めた見学を通して、蚕について知識を深めるだけでなく、蚕が生み出す「シルク」についての学習へとつなげていくため、見学内容の充実を図った。なお、学校やクラスによって学習したい内容は異なるため、事前に担当教員との打ち合わせも積極的に行なった。

【団体利用件数】 46件（うち横浜市立小学校 31件、県内国公立小学校 15件）

【下見件数】 28件

(b) 子ども向けワークショップ「まゆ人形作り」

かいこが作った繭の特徴等について、子どもたちが楽しく学べる機会を増やすため、当館オ

オリジナルキャラクター「まゆるん」の繭人形作りのワークショップを開催した。

企画名	実施日	回数	講師	参加者
まゆるん人形作り	毎月第2土曜日（8月を除く） 4/9、5/14、6/11、7/9、9/10、10/8、 11/12、12/10、1/14、2/11、3/11	11回	当館職員	44人

第4弾 たのしいかいこの発表会

「かいこ博士プロジェクト」の集大成として、子どもたちが飼育した蚕の観察記録や繭や生糸を使った作品を募集し、蚕について学んだ成果等を発表する機会として開催した。なお、12月18日には表彰式も実施した。

【会期】平成28年12月3日(土)～平成29年1月9日(月・祝)（開催期間26日間）

【展示】出品作品の展示（出品団体数24件、制作者814名、出品数403点）、
みんなでつくろう！桑の木パネル（かいこ教室時に作成したもの）

【関連企画】

企画名	実施日	回数	講師	参加者
たのしいかいこの発表会 表彰式	12/18(日)	1回		96人
生糸のランプシェード作り クリスマスバージョン	12/23(金・祝)	1回	当館職員	10人

【写真】



(3) 実演・講習会

ア. くみひも作り体験

鎧や刀、帯締めなどに使われてきたくみひもを、より身近に感じていただくため、くみひものストラップやミサンガ作りの体験を実施した。

企画名	実施日	回数	講師	参加
くみひもストラップ作り	第4土曜日 7/23、9/24、12/24、2/25	4回	当館職員	12人
ミサンガ作り	第4土曜日 6/25、8/27、11/26、1/28、 3/25	5回	当館職員	2人

イ. 手作り真綿の実演と講習会

真綿作りの伝統的な技術を次の世代に伝えるため、真綿に関する実演や講習会を開催した。

【後援】一般財団法人日本真綿協会

企画名	実施日	回数	講師	参加者
手作り真綿の実演	毎月第1土曜日(7~9月を除く) 4/2、5/7、6/4、10/1、11/5、 12/3、1/7、2/4、3/4	9回	河合貞子	
真綿からの太糸作り 実演	毎月第3土曜日 4/16、5/21、6/18、7/16、 8/20、9/17、10/15、11/19、 12/17、1/21、2/18、3/18	12回	河合貞子	
手作り真綿の講習会	7/1(金)、2(土)、3(日)	3回	河合貞子	9人
手紬糸作り実演	5/3(火・祝)、7/18(月・祝)、 9/22(木・祝)	3回	田村恭子 (伝統工芸士)	
手紬糸作り講習会	11/3(木・祝)、3/20(月・祝)	2回	田村 恭子 (伝統工芸士)	12人

ウ. スカーフ染め体験

シルクスカーフに親しんでいただくため、シルクの白いスカーフ生地にビー玉やゴムを使って簡単な絞り模様をほどこし、草木染め染料による染色体験を実施した。

企画名	実施日	回数	講師	参加者
スカーフ染め体験	4/23(土)、10/22(土)	2回	佐藤 のり子	7人

エ. 手描き友禅色挿し体験

美しい友禅染をより身近なものとして親しんでいただくため、友禅染めの糸目糊による模様が描かれた絹生地に色を挿す体験を実施した。

企画名	実施日	回数	講師	参加者
手描き友禅色挿し体験	5/29(日)	2回	生駒暉夫 (日本工芸会正会員)	27人

オ. ワクワク！シルクイズ

子どもの蚕や繭に対する関心や理解を深めるために、シルク教室（糸口探し、糸繰り体験等）と博物館探検（「かいこを守る動物は何か」等のクイズの答え探し）を実施した。

企画名	実施日	回数	講師	参加者
ワクワク！シルクイズ	8/21(日)、28(日)	4回	当館長	20人

(4) 博物館実習生の受入れ

学芸員養成に協力するとともに当博物館を広く周知し、絹に対する理解と関心を深めてもらうため、講義と普及活動の実践（蚕の飼育も含む）による受入れを行った。前半はシルク博物館の活動や役割についての講義、後半は「かいこ教室」で普及活動の実践を行った。講義で得たことを来館者に自ら説明することで、絹に関わる産業、歴史、文化への興味関心を深めていただく機会とした。

【実習期間】平成28年7月26日(火)～8月7日(日)

【受入校】 6大学6人

大学名	学年	人数
聖心女子大学	4年	1人
専修大学	3年	1人
大正大学	4年	1人
鶴見大学	4年	1人
帝京大学	4年	1人
明治学院大学	4年	1人

(5) 連携事業

ア. シルキーウィンターフェスティバル

若い世代を含めたより多くの方々にシルク博物館やシルクセンターに来ていただき、楽しくシルクへの理解を深め、シルクに関わる産業の振興を図ることを目的として、展示とクリスマスイベントを実施した。

関東学院大学の協力による、横浜輸出スカーフの展示・スカーフ等を使った館内の飾りつけを行い、またシルクミュージアムショップの協力によるシルクフェアも開催した。

【会期】平成 28 年 12 月 3 日(土)～平成 29 年 1 月 9 日(月・祝) (開催期間 26 日間)

【主催】シルク博物館

【協力】関東学院大学／クラシック・ヨコハマ 2016 横浜市民広間演奏会／
シルクミュージアムショップアソシエーション

【展示等】横浜輸出スカーフ展示「横浜輸出スカーフ意匠 イタリア」、
スカーフや真綿等シルクを使った冬仕様の飾りつけ

【関連企画】シルキークリスマス (無料入館日 総入館者数 406 人)

プログラム名	実施日	出演者等	観覧
クリスマスのお話	12/18 (日)	名誉館長 マリ クリステイーヌ	45 人
シルクスカーフを用いたファッションショー		関東学院大学	49 人
クラシック・ヨコハマ 2016 クリスマスコンサート		横浜市民広間演奏会	56 人

【入館者数】

(人)

	個人				団体				無料 ※	入場者計
	一般	シニア	高・大	小・中	一般	シニア	高・大	小・中		
日本人	171	64	83	—	136	35	11	—	1,147	1,647
外国人	13	0	5	—	0	1	0	—	—	19
計	184	64	88	—	136	36	11	—	1,147	1,666

※小・中学生および招待券、優待券など無料入館者

【写真】



イ. 横浜絹フェスティバル

当館では、横浜絹フェスティバル実行委員会の一員として、絹とともに発展した街「横浜」で、様々な取り組みを通して絹の魅力を発信し、絹の需要促進につなげるため、平成28年度より「横浜絹フェスティバル」に参加した。なお、横浜高島屋会場において当館主催展示「絹の街、横浜～写真と絵で探る歴史と魅力～」を開催した。

【会期】平成28年4月22日(金)～平成28年5月30日(月・祝)

※なお、当館での開催期間は、春の企画展（4月23日(土)～6月12日(日)）中

【主催】横浜絹フェスティバル実行委員会（横浜繊維振興会／シルク博物館／日本シルクを守り育てる会／横浜高島屋／横浜ベイホテル東急／横濱きものステーション）

【協賛】横浜高島屋5階ゴールドショップ

【協力】ホテルニューグランド／ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル／横浜ロイヤルパークホテル／横浜ファッションデザイン専門学校／花まゆ 酒井登巳子／甘楽富岡蚕桑研究会／ワミレスコスメティックス(株)／神奈川県タクシー協会横浜支部

【後援】横浜市文化観光局・経済局／一般財団法人大日本蚕糸会／横浜商工会議所／公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー／公益社団法人横浜貿易協会／一般社団法人横浜港振興協会／神奈川倉庫協会／神奈川新聞社／NHK横浜放送局／朝日新聞横浜総局／毎日新聞横浜支局／読売新聞横浜支局／産経新聞社横浜総局／日本経済新聞横浜支局／東京新聞横浜支局

【事務局】松村株式会社内（横浜市中区住吉町1-13）

【当館参加内容】

企画名	実施日	備考
「絹フェスパスポート」スタンプラリー	4/22(金)～5/30(月・祝) ※当館では4/23(土)～	スタンプ設置場所：赤レンガ倉庫（横浜ファッションウィーク会場）、大さん橋国際客船ターミナル、シルク博物館、三溪園正面玄関、横浜高島屋（ヨコハマ絹の大祭典内受付） パスポート利用者：165人。 プレゼントの一部として、当館招待券100枚提供。
春の企画展「キモノの美—人間国宝田島比呂子の友禅—」	4/23(土)～5/30(月・祝)	会場：シルク博物館

「絹の街、横浜～写真と絵で探る歴史と魅力～」講演	5/29(日) 2回	会場：横浜高島屋(8階 催会場「ヨコハマ絹の大祭典」) 講師：坂本英介 聴講者：20人
--------------------------	------------	---

(6) 資料活用事業

ア. 購入 2点

資料名	点数	制作者
織着物「11月の街道」 (第24回全国染織作品展シルク博物館大賞買上げ作品)	1点	村田晴子
染着物「雁堤の秋」 (第24回全国染織作品展シルク博物館賞買上げ作品)	1点	田中さと子

イ. 寄贈 11点

資料名	点数	寄贈者
伊勢型紙道具彫「分銅文」 今坂千秋作	1点	今坂千秋
写真織額	1点	内山裕文
のしめ振袖 柳悦博作	1点	小口惣三郎・芳子
植物模様手描友禅黒留袖	1点	
黒地鳳凰に雲模様袋帯	1点	
金箔入りつゆ草花模様夏用帯	1点	
鶯色縮地沢瀉裾模様白上げ着物(下着付き)	1点	
黒縮緬地蝶模様着物	1点	
黒地流水に水仙模様着物	1点	
黒紋綾地墨暈波に水鳥模様染繡打掛	1点	
黄緑縹子地結びのし鶴亀模様刺繡掛袷紗	1点	

ウ. 資料の貸出 5件 14点

資料名	点数	事業名	貸出先	期間
紬訪問着「百万粒の夢」 武井豊子作	1点	「松本紬を、伝える。」武井豊子の仕事展	松本市 (会場：松本市美術館)	5/31(水)～ 6/5(金)
「牡丹花」 三浦景生作	3点			

「早春譜」 三浦景生作		「三浦景生の染め 白寿の軌跡」	京都市美術館、三浦景生展実行委員会 (会場：京都市美術館)	9/6(火)～18(日)
「罌粟」 三浦景生作				
生地 藍地唐花文羅 喜多川平朗作	7点	「日本のわざと美」展 —重要無形文化財とそれを支える人々—	文化庁 (会場：島根県立古代出雲歴史博物館)	10/14(金)～11/20(日)
袴地 「松濤」精好仙台平 甲田栄佑作				
帯 七献立献上博多織 小川善三郎作				
舞小袖「落葉」縮緬地友禅染繡 田畑喜八作				
訪問着「三彩鱗漸層文様」縮緬地友禅染 森口邦彦作				
伊勢型紙 突彫「御所伽」 南部芳松作				
伊勢型紙 道具彫「亀甲菱菊」 中村勇二郎作				
友禅染屏風「拗炎」中村光哉作	2点	「横須賀ゆかりの友禅作家中村光哉展」	横須賀美術館	2/11(土)～4/16(日)
友禅染屏風「潮間」中村光哉作				
繭 100粒	1点	ファッションビブレ「横浜スカーフの展示」	横浜繊維振興会 (会場：横浜市港北図書館)	2/10(日)～2/28(火)

エ. 資料の特別（写真）利用 2件3点

資料名	点数	掲載誌等	利用者	掲載日等
手織機	1点	「教育旅行」7月号	公益財団法人日本修学旅行協会	7/1(金)発行
チェニーシルク工場全景	2点	館内グラフィックパネルに使用	国立歴史民俗博物館	3月より常設
絹織物工場の工女				

(7) 刊行物

『第24回全国染織作品展』図録 平成28年10月7日(金) 発行

(8) 執筆・講演

ア. 執筆

題名	掲載日	掲載先	執筆者
シルク博物館桑園における トラフカミキリ発生記録	4/3(日)	『神奈川虫報』第188号(神奈川県昆虫 談話会発行)	石鍋由美子

イ. 講演

題名	内容	講演日	主催	会場	講演者
横浜開港と シルクの話	横浜開港以降を中 心に日本の蚕糸業 の歴史等について	10/21(金)	蚕糸・絹業提 携グループ全 国連絡協議会	大本山川崎大師平 間寺信徒会館 (聴講者 30人)	坂本英介

(9) レファレンス

蚕を飼育する学校、個人からの問い合わせのほかに報道機関からのシルクに関する問い合わせなどが多数あった。

分類	主な内容
蚕の飼育に関して	飼育方法(ふ化から繭作りまでの各過程)
	繭の活用方法(糸くり、繭人形、染色、真綿作り)
	蚕の入手方法
	人工飼料の入手方法
	エサ(桑葉)の確保
蚕糸業に関して	絹の道
	養蚕農家
	製糸業

(10) 後援・協力

ア. 後援等

後援内容	事業名	主催	期間	事業内容
後援名義使用	第22回真綿の ヴィジュアル・ アート	一般財団法人 日本真綿協会	12/7(水)～ 12(月)	真綿を素材とした作品の公募によるアート展。 ※応募締切 10/20(木)
後援名義使用	第13回試作竹 箴と織布展	日本竹箴技術 保存研究会	11/8(火) ～12(土)	織機に必要な竹箴の製作と修復の 技術の習得、保存、伝承を目指す 活動をしている保存会で作った竹 箴を用いた全国織物産地や作家の 試作作品の展示。 会場:シルク博物館イベントホール

イ. 他機関への協力

協力内容	事業名	主催	期間	備考
審査委員として坂本館長を派遣	平成 28 年度蚕糸絹文化活性化推進事業審査会	(一財)大日本蚕糸会	5/23(月)、 6/23(木)、 10/3(月)、 12/15(木)	審査及び実施者への助言。
製作委員として大野学芸専門員を派遣	平成 28 年度工芸技術記録映画製作委員会「友禅 二塚長生のわざ 映画製作」	文化庁	8/22(月)、 1/25(水)、 3/7(火)	映画製作におけるシナリオ検討会、撮影立ち合い、検討試写会。
小・中学生の無料入館	児童福祉週間	神奈川県	5/5(木・祝) ～8(日)	入館者実績:29 人
小・中学生、高校・大学生の無料入館	開港記念日	横浜市	6/2 (木)	入館者実績:157 人
復刻スカーフ 6 枚の提供	2016 第 14 回バレエコンクール IN 横浜	(公社)日本バレエ協会 関東支部	5/2(月)～ 5(木・祝)	
講師の紹介、真綿の太糸作りの材料提供	第 35 回横浜開港祭・シルクワークショップ	第 35 回横浜開港祭協議会	6/1(水)～ 2(木)	参加者：150 人
入館料の免除	第 2 回授業体験講座「カイクが結んだ世界と横浜」	子ども大学よこはま	7/9(土)	参加者：128 人
招待券 10 枚の提供	専修大学神田鳳祭	専修大学神田鳳祭実行委員会	10/8(土)～ 9(日)	入場者：約 5,000 人、ゲームの景品として。
実演技術者と講師の紹介、真綿づくりとまゆクラフト体験の材料提供と用具の貸出	純国産宝絹 (takaraginu)展 川崎大師	蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会	10/21(金)～ 23(日)	来場者：1,746 人

招待券 10 枚の提供	平成 28 年度 NU 祭 第 24 回桜麗祭	日本大学文学部 桜麗祭実行委員会	11/3(木)～5(土)	入場者：15,053 人 ビンゴの景品として (参加者：約 650 人)
チラシへの優待券掲載	かながわシルクフェア	(公社)神奈川県観光協会	3/13(月)～21(火)	チラシ 1 枚につき、大人 2 名まで無料入場

(11) 視察等

団体	視察日	人数
大韓民国 DTC 繊維博物館	11/9(水)	2 人

(12) 広報

当館の基本情報や各企画内容について、テレビ・新聞・WEB 等、多くの媒体で取り上げられた。

ア. テレビ・ラジオ 7 件

主な取材内容	放映日	放送局	番組名
かいこ教室	8/3	tvk	猫の額ほどワイド (12:00～13:30)
手織機／八丁式撚糸機／ 桑スカーフ	10/3	BS-TBS	「ワタシの横浜とりっぷ」
	10/9	J:COM	「ワタシの横浜とりっぷ」再放送
第 24 回全国染織作品展	10/18	tvk	猫の額ほどワイド (12:00～13:30)
	10/18	tvk	ニュース 930α (21:30-22:00)
たのしいかいこの発表会 シルキーウィンターフェスティバル	12/18	tvk	tvk ニュース (17:50～、21:50～)
	12/3～1/9	NHK-FM	11:50～12:00 「天気予報・交通情報」

イ. 新聞・業界紙 23 件

主な取材内容	掲載日	新聞社等	掲載欄等
キモノの美 ー人間国宝 田島比呂子の友禅ー	4/20	毎日新聞	
	4/22	日経新聞	
	4/24	東京新聞	
	5/6	染織新報	
	5/9	神奈川新聞	横浜みなと新聞第 13 号
	5/15	産経新聞	
	5/25	織研新聞	「情報プラザ」に掲載
	5/30	毎日新聞	夕刊 (文化欄)
	6/3	朝日新聞	

蚕種配布	7/6	神奈川新聞	
かいこ教室	7/29	毎日新聞	「催し」欄に掲載
	7/31	朝日新聞	「ワクワク！シルクイズ」含む
	8/1	東京新聞	
第24回全国染織作品展	6/8	織研新聞	「情報プラザ」に掲載
	10/8	毎日新聞	神奈川版
	10/10	染織文庫	
	10/14	朝日新聞	夕刊「Around Tokyo」
	10/20	神奈川新聞	広域版
	10/31	東京新聞	かながわインフォメーション
	12/2	朝日新聞	夕刊「Around Tokyo」
たのしいかいこの発表会 シルキーウィンターフェスティバル	12/5	東京新聞	かながわインフォメーション
	12/14	神奈川新聞	
	12/17	毎日新聞	

ウ. WEB

主な取材内容	掲載日	掲載先等	
常設／基本情報	6/1	(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー	横浜トラベルインフォスポット
	7/12	Dokka エンタープライズ株式会社	Dokka!おでかけ探検隊
	7/15	cubic 株式会社	mirea (ミア) web サイト
	8/10	横浜市健康福祉局	横浜市バリアフリー情報 ヨコハマ・ふくまち.net
	8/23	朝日新聞社	朝日新聞社キャリア教育支援サイト「おしごととはくぶつかん情報館」
常設／基本情報	9/9	(株)KADOKAWA	ウォーカープラス神奈川
	11/9	カンオビジネスサービス株式会社	Ayamu 地域介護 web サイト
	2/10	大東建託株式会社 (大東建託いい暮らしナビ事務局)	DK SELECT いい暮らしナビ
	2月	神奈川県産業労働局観光部	神奈川県多言語観光情報ウェブサイト
	3月	神奈川県産業労働局観光部観光企画課	美術館・博物館 (ミュージアム) マップ
キモノの美 一人間国宝田島 比呂子の友禅	5/10	(公財)横浜市芸術文化振興財団	ヨコハマ・アートナビ
かいこ教室	8/4	Dokka エンタープライズ株式会社	Dokka!おでかけ探検隊

ワクワク！シルクイズ	8/16	Dokka エンタープライズ株式会社	Dokka!おでかけ探検隊
ワークショップ	8/31	Dokka エンタープライズ株式会社	Dokka!おでかけ探検隊

エ. 書籍

主な取材内容	掲載日	掲載先等	
常設／基本情報	7/6	K & B パブリッシャーズ	おとな旅プレミアム横浜
	8/31	(株)教材研究所	おすすめコース東京+横浜
	9月	(公財)日本博物館協会	全国博物館総覧 第2巻 (PDF化しPC上での閲覧含む)
	11月	(株)教材研究所	東京散策乗物ガイド
	12月	(株)美術年鑑社	美術年鑑 平成29(2017)年版
	2/1	(株)JTB パブリッシング第2情報事業部	るるぶ横浜 中華街みなとみらい'18
常設／基本情報	7/25	日経サイエンス編集部	日経サイエンス9月号付録「親子の科学の冒険」の「夏休みイベント情報」ページ
	7/1	(公財)日本修学旅行協会	教育旅行「横浜歴史探訪」
	8/20	ハースト婦人画報社	美しいキモノ 2016年秋号

オ. ミニコミ・研究誌等

主な取材内容	掲載日	掲載先等	
常設／基本情報	7月	横浜市民ギャラリー	ヨコハマ・ギャラリー・マップ 2016.7-2017.6
	9/1	神奈川県博物館協会事務局	かながわのミュージアム 2016
	1/27	(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー	教育旅行向けガイドブック 『YOKOHAMA 学習・体験 GUIDE』
	3月	(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー	横浜ビジターズガイド 2017年度版
キモノの美 一人間国宝田島 比呂子の友禅ー	4月	(一財)大日本蚕糸会 蚕糸・絹産業提携支援センター	シルクレポート 2016.5月号
かいこ教室	7月	神奈川県政策局政策部総合政策課科学技術グループ	第16回かながわサイエンスサマー
	7月	(一財)大日本蚕糸会 蚕糸・絹産業提携支援センター	シルクレポート 2016.7月号
	9月	(一財)大日本蚕糸会	シルクレポート 2016.9月号

第24回全国染織 作品展		蚕糸・絹産業提携支援センター	
	10月	(公財)日本博物館協会	博物館研究 2016.10月号
	11月	(一財)大日本蚕糸会 蚕糸・絹産業提携支援センター	シルクレポート 2016.11月号
たのしいかいこの発表会 シルキーウインター フェスティバル	11月	(一財)大日本蚕糸会 蚕糸・絹産業提携支援センター	シルクレポート 2016.11月号
	1月	(一財)大日本蚕糸会 蚕糸・絹産業提携支援センター	シルクレポート 2017.1月号
冬の企画	1月	(公財)日本博物館協会	博物館研究 2017.1月号
ワークショップ	9月	(公財)日本博物館協会	博物館研究 2016.9月号
	11月	(公財)日本博物館協会	博物館研究 2016.11月号
	12月	(公財)日本博物館協会	博物館研究 2016.12月号
	1月	(公財)日本博物館協会	博物館研究 2017.1月号

カ. その他

主な取材内容	掲載日	掲載先等	
常設／基本情報	2月～	横浜市文化観光局 観光 MICE 振興部	横浜観光情報データ集（英語版）を USB で配布

5 資料

(1) 組織と職員

【組織図】

一般財団法人シルクセンター国際貿易観光会館
専務理事 — 事務局長

↓
(シルク博物館)

博物館部長(館長)(1) — 学芸課長(1) 学芸員(1) 学芸専門員(1)

非常勤職員(1) アルバイト(4) ※()内は人員

【委嘱者氏名】 名誉館長 マリ クリスティーヌ

【職員氏名】 博物館部長 (館長) 坂本 英介
学芸課長 石鍋 由美子
学芸員 福地 ころろ
学芸専門員 大野 美也子
非常勤職員 高橋 多麻美

(2) 事業費

費目	内容	支出(円)
博物館事業費		8,121,455
内訳)		
普及事業費	常設展示費・特別展開催等	6,390,400
資料整備費	資料補修費・図書資料等収集費	385,408
広報事業費	広告掲載費	749,370
運営管理費	運営委員会開催費・損害保険料	596,277

(3) 所蔵資料

	前年度末の累計 収集・寄贈	平成 28 年度		本年度末の累計
		購入	寄贈	
資料	6,106	2	11	6,119
写真・ビデオなど	608	0	0	608
図書	6,530	0	0	6,530
計	13,244	2	11	13,257

(4) 入館者状況

(人)

	個人				団体※1				無料 ※2	入場者 計
	一般	シニア	高・大	小・中	一般	シニア	高・大	小・中		
4月	270	216	66	122	121	57	50	7	485	1,394
【22日】	(76)	(60)	(8)	(5)	(32)	(0)	(0)	(0)		(181)
5月	500	290	165	343	151	137	246	278	1,183	3,293
【26日】	(63)	(14)	(7)	(3)	(1)	(1)	(0)	(0)		(89)
6月	417	237	59	170	110	142	24	875	693	2,727
【22日】	(62)	(21)	(16)	(7)	(0)	(0)	(0)	(0)		(106)
7月	462	98	66	269	183	67	21	788	579	2,533
【27日】	(152)	(28)	(19)	(9)	(43)	(0)	(1)	(1)		(253)
8月	620	92	42	428	215	43	10	315	609	2,374
【26日】	(28)	(10)	(8)	(5)	(0)	(0)	(0)	(0)		(51)
9月	302	106	68	51	91	81	94	442	446	1,681
【23日】	(112)	(46)	(2)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)		(162)
10月	302	509	70	121	131	86	0	535	753	2,507
【22日】	(56)	(22)	(5)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)		(85)
11月	287	200	29	93	102	145	5	299	840	2,000
【22日】	(36)	(6)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		(42)

12月 【22日】	139 (9)	59 (0)	81 (3)	5 (0)	129 (0)	40 (1)	10 (0)	0 (0)	1,045	1,508 (13)
1月 【23日】	200 (27)	66 (2)	25 (4)	124 (1)	29 (0)	15 (0)	3 (0)	260 (0)	508	1,230 (34)
2月 【24日】	220 (41)	60 (0)	15 (4)	198 (1)	112 (0)	32 (0)	45 (0)	384 (0)	463	1,529 (46)
3月 【27日】	258 (73)	147 (47)	35 (3)	72 (4)	73 (0)	49 (0)	2 (0)	29 (0)	701	1,366 (127)
計 【286日】	3,977 (735)	2,080 (256)	721 (79)	1,996 (39)	1,447 (76)	894 (2)	510 (1)	4,212 (1)	8,305	24,142 (1,189)

【】開館日数 () 外国人

※1 団体割引適用者を含む

※2 ホール利用者、招待券、優待券等による無料入館者（外国人含む）

(5) 過去の特別展・企画展一覧

年度	特別展等
1959(昭和 34)	シルクセンター竣工記念全国輸出振興展
	特別展『蚕織錦絵展』
1960(昭和 35)	特別展『近世日本衣装名品展』
1961(昭和 36)	特別展『近代染織名作展』
1962(昭和 37)	特別展『日本伝統染織工芸展』
1964(昭和 39)	特別展『オリンピック東京大会記念シルクフェア』
1965(昭和 40)	特別展『能装束展』
1966(昭和 41)	「第 8 回米国貿易見本市出品絹製品展示会」
	特別展『伝統染織作品と紅染資料展』
1967(昭和 42)	特別展『紋と繻の美展』
1968(昭和 43)	特別展 開館 10 周年記念『シルク博物館所蔵品展』
1969(昭和 44)	特別展『江戸時代能装束展』
1970(昭和 45)	特別展『花のきものと髪かざり展』
	特別展『第 1 回シルク博物館染織作品展』
1971(昭和 46)	特別展『第 2 回シルク博物館染織作品展』
1972(昭和 47)	特別展『第 3 回シルク博物館染織作品展』
1973(昭和 48)	特別展『第 4 回シルク博物館染織作品展』
1974(昭和 49)	特別展『第 5 回シルク博物館染織作品展』
1976(昭和 51)	特別展『ヨコハマのスカーフ展』
1977(昭和 52)	特別展『世界の民族衣装展』
1978(昭和 53)	特別展『人間国宝による「絹の伝統染織名作展」』

1979(昭和 54)	特別展『横浜絹の祭典と染織新作展』
1980(昭和 55)	特別展『思い出のきもの展』
1981(昭和 56)	特別展『草木染展と染織新作展』
1982(昭和 57)	特別展『洋装のあゆみとニューファッション展』
1983(昭和 58)	特別展『ふるさとの絹展と第 8 回染織作品展』
	企画展『母と子の「かいこの自然科学教室」』
1984(昭和 59)	特別展『花嫁衣装展』
	特別展『江戸期から現代までの「江戸小紋展」』
	企画展『母と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『郷土かながわの染織作品展』
1985(昭和 60)	特別展『日本人形の細工物展』
	企画展『母と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『フランス絹織物栄光とその先達「リヨン織物美術館秘蔵品展」』
1986(昭和 61)	特別展『ヨコハマのスカーフ展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『関東の絹展と第 9 回染織作品展』
1987(昭和 62)	特別展『レースの美展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『ファッションデザイナーによる'87 ニューウェーブきもの展』
1988(昭和 63)	特別展『ふろしきの今昔展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『'88 ニューシルク展と第 10 回染織作品展』
1989(平成元)	特別展『シルク博物館所蔵名品展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『華麗なる絹の世界へ「絹の文化展」～江戸と現代～』
1990(平成 2)	特別展『「日本の紬展」～紬のふる里を訪ねて～』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『シルクまつり'90 と第 11 回染織作品展』
1991(平成 3)	特別展『館蔵「蚕織錦絵展」～錦絵にみる時代風俗と衣装～』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『～桂由美コレクション～「世界の民族花嫁衣装展」』
1992(平成 4)	特別展『館蔵「染織名品展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『シルクフェア'92 と第 12 回染織作品展』
1993(平成 5)	特別展『館蔵「江戸小袖展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『「絹と化粧まわし展」～戦後横綱の化粧まわしによる～』

1994(平成 6)	特別展『館蔵「江戸古裂展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『シルクフェスタ'94 と第 13 回染織作品展』
1995(平成 7)	特別展『～繡の美～「甦る足柄刺繡展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『「思い出のきもの展」-PART II- ～昭和・平成の衣裳作品から～』
1996(平成 8)	特別展『～日本人の贈りもの～「掛袱紗展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『シルクフェア'96 と第 14 回染織作品展』
1997(平成 9)	特別展『アヅマカブキの舞踊衣装展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『～手織りの芸術美～「ラオスの伝統織物展」』
1998(平成 10)	特別展『カイコの道具展とシルクフェア'98』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 15 回染織作品展と秋のシルクフェア』
1999(平成 11)	特別展『文化の伝承－江戸から現代へ「華麗なる能装束の美」展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『染めの美織りの美 ～人間国宝作家作品を中心として～』
2000(平成 12)	特別展『沖縄の伝統染織展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 16 回全国染織作品展』
2001(平成 13)	特別展『人生をかけた荒井照太郎の手描友禅その美』
	企画展『「熊田千佳穂の昆虫記録展」と親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『ブータンの民族衣装とシルクフェア』
2002(平成 14)	特別展『中村光哉友禅染色の詩展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 17 回全国染織作品展とシルクフェア』
2003(平成 15)	特別展『糸目友禅の巧み「人間国宝 山田貢展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『市田ひろみコレクション「世界の民族衣装展」』
2004(平成 16)	特別展『自然をいつくしむ手描友禅「人間国宝 田島比呂子展」』
	企画展『親と子の「歌舞伎人形とかいこの自然科学教室」』
	特別展『第 18 回全国染織作品展』
2005(平成 17)	特別展『世界のふろしき展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『今に伝えるつむぎの魅力』

2006(平成 18)	特別展『「人間国宝 細見華岳展」ー綴織に心を込めてー』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 19 回全国染織作品展』
2007(平成 19)	特別展『インド サリーの世界』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『旧山辺知行コレクション「インドの染織展」』
2008(平成 20)	特別展『アロハ・デザイン展』
	特別展『ラオス女性が伝える手織りの世界』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 20 回全国染織作品展』
2009(平成 21)	特別展『佐賀錦のみやびな世界「人間国宝 古賀フミ展」』
	特別展『開館 50 周年記念「ヨコハマ開港とシルク展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『鈴木ーコレクション「古渡り更紗と名物裂展」』
2010(平成 22)	特別展『ペルシャシルク絨毯の世界』
	特別展『華麗なる能装束「稔りの季」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 21 回全国染織作品展』
2011(平成 23)	特別展『「三浦景生展」ーヨコハマ染陶歷程ー』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『ー平山郁夫シルクロード美術館コレクションー 「豊饒なる色彩ーウズベキスタンの布と器」』
	特別展『「美しい日本の絹」ユミ カツラブライダルコレクション』
2012(平成 24)	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『群馬県立日本絹の里との提携記念 「夢を紡いだシルク」ー「蚕の国」群馬と「シルクの街」ヨコハマー』
2013(平成 25)	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『ー美しい日本の絹ー「友禪」』
	企画展『世界に羽ばたいたスカーフたち』
2014(平成 26)	企画『親と子のかいこの自然科学教室』
	特別展『第 23 回全国染織作品展』
	企画『親と子のかいこの自然科学教室』
2015(平成 27)	特別展『今に生きる 江戸小紋 ～小宮家四代の作品を中心に～』
	企画展『キモノの美ー人間国宝田島比呂子の友禪ー』
2016(平成 28)	特別展『第 24 回全国染織作品展』

※「かいこ教室」は教育普及事業に分類したため、2016 年度より本表から外した。

シルク博物館平成28年度年報
平成30年2月20日発行
編集・発行 シルク博物館
〒231-0023
神奈川県横浜市中区山下町1番地
TEL 045-641-0841

